

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●泉谷楓真騎手がJRA初騎乗・初勝利を達成

3月1日(日)の1回阪神2日・第1レースではメイショウヒバリが1着(同着)となり、同馬に騎乗した泉谷楓真騎手(栗東・本田優厩舎)は、JRA初騎乗で初勝利をあげました。1着同着でのJRA初騎乗・初勝利は史上初のこととなります。

●奥村武調教師がJRA通算100勝を達成

2月29日(土)の1回中京1日・第3レースではシネマトグラフが1着となり、同馬を管理する奥村武調教師(美浦)は、現役149人目となるJRA通算100勝(延べ1450頭目)を達成しました。

●四位洋文騎手が引退

2月29日(土)をもって四位洋文騎手(栗東・フリー)が引退しました。史上2人目となる日本ダービー連覇(2007年ウオッカ・2008年ディープスカイ)を達成するなど、JRA通算成績1万3919戦1586勝・地方111戦24勝・海外7戦1勝。2020年度新規調教師試験に合格しており、今後は調教師に転身する予定です。

●調教師2名が引退、4名が新規開業

3月3日(火)をもって作田誠二調教師(栗東/JRA通算成績4604戦291勝・地方228戦31勝)と山内研二調教師(栗東/JRA通算成績9352戦872勝・地方106戦13勝・海外3戦0勝)が引退しました。これにともない、美浦では小手川準調教師と宮田敬介調教師(ともに14馬房)、栗東では新谷功一調教師と吉岡辰弥調教師(ともに16馬房)が3月4日(水)付で新規開業しています。

●武豊騎手が国際騎手招待競走に出場

2月28日(金)、サウジアラビアのキングアブドゥルアジーズ競馬場で国際騎手招待競走「2020 STC インターナショナルジョッキーズチャレンジ」が開催されました(参加騎手14名/4レース)。武豊騎手(栗東・フリー)は9着、6着、2着、8着で、計10ポイント獲得という結果。優勝は33ポイントを獲得したM. スミス騎手(アメリカ)でした。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●エンプレス杯(川崎)でアンデスクイーンが引退の花道を飾る

エンプレス杯(JpnII、3月5日、川崎、2100m)は、後方から徐々に追いつけたアンデスクイーン(クリストフ・フルメール騎手、牝6歳、父タートルボウル)が直線半ばで抜け出し、1番人気に代えて3度目の重賞制覇を果たしました。8番人気のナムラメルシー(大井)が2着に入り、3番人気のパッシングスルーは3着、2番人気のプリンシアコメータは4着、ラインカーリーナは5着、トーセンガーネットは10着でした。

●ウェスターランドらが参戦、3月11日のダイオライト記念

ダイオライト記念(JpnII、3月11日、船橋、2400m)は、ウェスターランド、アナザートゥルース、サウンドトゥルー(船橋)、ジョーダンキング、ジュンスターホースの順に有力視されます。

●3月10日の黒船賞(高知)はワンダーリーデルが有力

黒船賞(JpnIII、3月10日、高知、1400m)は、前走のフェブラリース4着のワンダーリーデルが筆頭格、以下デビュープロセス、昨年の覇者サクセスエナジー、ラブタス、テオージーニアスまでが争覇圏内と考えられます。

●3月12日の名古屋大賞典で重賞連勝を目指すナムラカメタロー

名古屋大賞典(JpnIII、3月12日、名古屋、1900m)は、佐賀記念1、2着のナムラカメタロー、ロードゴラッソに、アングライフェン、フィードバック、ビルジキールが割って入れるかどうかが見どころとなります。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●サウジC開催～フルフラットがサンバサウジダービーC制す

2月29日にサウジアラビアのキングアブドゥルアジーズ競馬場で2020サウジC開催が行われ、サンバサウジダービーC(3歳、ダート1600m)を日本から遠征したフルフラット(牡、父スパイタウン、栗東・森秀行厩舎)が武豊騎手を背に先行抜け出しの競馬で快勝。日本調教馬として初めてサウジアラビアで勝利を収めました。日本調教馬はこのほかにもディアドラがモハメドユスフナギモーターズC(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、芝2100m)で2着、マテラスカイがサウジアC(3歳上、ダート1200m)で2着と連対を果たしました。なお、この日のメインレースで、世界一の高額賞金レース[総賞金2000万ドル(約22億円)、1着賞金1000万ドル(約11億円/1ドル108円で換算)]として行われたサウジC(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、ダート1800m)はアメリカのマキシマムセキュリティ(牡4歳、父ニューイヤーズデイ、J. サービス厩舎)が、同じくアメリカから参戦したミッドナイトビズーの追い上げを3/4馬身差抑えて優勝。日本のゴールドドリームとクリソペリルはそれぞれ6着、7着でした。